

## ④トークショー

14:00-14:30

### 「宮本和知のパパダイアリー」

ゲスト

●宮本 和知 (スポーツキャスター、野球解説者)

進行

●鍋山 祥子

(山口大学経済学部教授、男女共同参画推進室長)



#### 〈要旨〉

現在、子供のスポーツ指導、育児に非常に関心の高い宮本さん。来場者のみなさんに対して、力強く語っていただきました。

宮本さんは、27歳と5歳の娘さん2人の育児をご経験されていますが、生まれてからの最初の2ヶ月は特に大変で、奥様からもよく聞かされていたと言います。出産直後の男性の休暇取得、家事・育児への参画を推進する「さんきゅうパパプロジェクト」の趣旨にも賛同され、パパもできるだけ休んで、家族に感謝を伝えることは大事なことだと語ります。

また、お子さんが生まれる以前は、男として「稼ぐことが円満な家庭を築く」という思いで仕事に取り組んでいましたが、仕事だけではいけないと思い、できる範囲で家事・育児に取り組んできたと言います。仕事の疲れもあるので、育児用にパワーを取っておいたり、続けられることをやるようにしたそうです。

宮本さん夫婦は、常に会話がが多く、ちょっとしたことで話をしてコミュニケーションしていることが、夫婦円満の秘訣だそうです。

さらに、宮本さんは住んでいる地域のみなさんと、気軽に声を掛け合えるとてもいい関係で、テレビに出る仕事だからと距離を置かず、自然なパパの顔で過ごし、地域の人々との輪もどんどん広がっています。また、地域が大好きな宮本さんは、この地域のために何かやろうということで、少年野球チーム「葉山巨人軍」を作られたそうです。

少年野球では、レイ、メイ、キョウ、ユウ、ドウという五つの言葉を並べて、指導されています。レイは礼儀、メイは明るさ、キョウは競争、ユウは一生の友達の友情、ドウは自分の夢にむかって自分で道を切り拓いていくようにと指導されています。そしてもう1つ、保護者の方が我が子を叱れないという人が増えているので、その子の将来を思って、しっかり叱ることも重要だと考えていらっしゃるようです。また、良い部分を伸ばしていく指導をされています。

最後に一言、山口で今子育てをされているパパ、ママにエールを一言、という質問に対して、「働かされているママも主婦の方もいるかと思いますが主婦業というものもとても大変なこと。それを旦那さんがしっかりと理解したうえで、できることを言われる前にやるのが大切だと思います。旦那さんは、お子さんと奥さまにアンテナを向けて、何か気づいたらやるという姿勢が家族の幸せにつながっていくと思います。ぜひ2人で育児をがんばってください。」とお言葉をいただきました。